
リトルウイング雑務日誌セカンドシーズン 混・沌・交・錯

オンドゥル侍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

リトルウイング 雜務日誌セカンドシーズン 混・沌・交・錯

【Zコード】

Z0865BA

【作者名】

オンドウル侍

【あらすじ】

突如、ファンタシースターの世界に色々な作品のキャラがやってきた！これが前作である。その後、キャラたちは作品を超えてお互いに親睦を深めていく。そして、クリスマスで終わったかと思いきや、まさかのセカンドシーズンで、原作も追加してクラッド6はD A I K O N R A N！下ネタあり、オンドウルあり、キャラ崩壊ありのクロスオーバーギャグ小説、まさかの第2弾！

原作一覧：ファンタシースター、仮面ライダー、GANTZ、青の祓魔師、FAIRY TAIL、銀魂、SKET DANCE、F

a t e、メタルギアソリッド ピースウォーカー、遊戯王5D's、
ガンダム、トリコ
(この小説はコラボフリーです。)

よく勘違こられたる事は、一見、口の轉の事である。（前書き）

シーブラック「お仕あしておめでとハジケル事か。」

弦太郎「よし、じゃあ此であれやるヤー新年んんん……」

皆「「「「「サタ————シー」」」」」」

よく勘違こなすかと思は一見一団の軽の事である。

アダム「あけましておめでとう。」

H//コア「おめでとう。」

ユート「おめでとう。」

ルニア「おめでとう。まあ、アダムちゃん。」

シズル「おめでとう。」

ナギサ「おめでとう。」

クライス「お、おめでとう。」

アレン「おめでとう。」

アダム「よし、皆今年もよろしくなーつてなわけで、H//コア、ユート、ルニア、ナギサ、クライス、ちょっとこっち来い。」

H//コア「ん? なに?」

アダム「何つて、決まってるだろ。お年玉だ。一応この中で最年長（現在21歳）なんだし。」 5人に封筒を渡す

H//コア「あ、ありがと!」

ユート「ん~、どれどれ…」

ルニア「え…これ…2万メセタも入りますが！」

ナギサ「こんなにくれるなんて…あなたの財布は大丈夫なのか？」

クライス「別に頼んでないけど…あ、ありがとう…」

アダム「大丈夫だ。これくらい何て事無えよ。」

(クラウチとウルスラとチャエルシーが出てくる)

クラウチ「うし、じゃあ初詣行くぞ！」

ウルスラ「皆、準備は出来てるわよね。」

チャエルシー「ハイ、未成年組に私達からのお年玉パー。」

ヒリコア「ふおおお…何買おつかな…」

ゴート「ヒリアー・プリンだ!・プリンをこっぽに食べれるぞー。」

アレン「みんな相変わらず元気だな。」

シズル「しまつた…僕お年玉とか何もない…」 現在20歳

ナギサ「まあ、あまりたくさんもらひ過ぎても困るしな。」

クラウチ「オイー、ほわつとしてると置いてくぜー。」

(クラシックの内神社)

ヒロコア「わて、お参りも終わつたし、こよこよ出店でおこしも
の食べるわよー。」

ゴート「おーー。」

クライス「はしゃぐなつづーの。見てるこいつが恥ずかしいだろ
うが。」

アダム「……ん?アレって」

玄野「お、あこひらつて」

加藤「主役キャラたひだよ。GANZENキャラを代表してケイちゃ
んが挨拶に行つてきたりだよ。」

玄野「ハア……つたく、しゃあねーな。じや、タヒちゃんはここで待
つてて。」

多恵「分かった。」

玄野「おーい。」

アダム「あ、玄野じゅん。お前らわいに来たんだな、ようじく。」

玄野「おお。」アダムと握手

アダム「んじゃ、お近づきの印に食こもろひじかてくれねえ?」

玄野「え?いいのか?あ、ありがと。あ、タエちゃんも連れてっていいか?」

アダム「いいぜ。」

加藤「主人公同士なのか意氣投合してるな。」

エミリア「それに、スーシ無かつたら一人ともこれと言ったキャラ立ち要素ないしね。」

加藤「言つてやるな。」

アダム「何がいいんだ? 何でも言いな。」

玄野「あ、じゃあ、そのラーメンでいいか?」

アダム「おお、いいぜ。おーい! ラーメン2つ!」 屋台の人へ呼び掛ける

涼子「ハイ、分かりました! すぐ出しますね!」

玄野「お、涼子ちゃんじやん。屋台出してんだな。」

涼子「あ、玄野君。小島さんもいるけど、その方は?」

アダム「アダム・マクスウェルって言つ名前だ。よろしくな。」

多恵「結構人がよそそうだよね。アダムさん。」

アダム「さん付けはいって。」

和泉「へいお待ち! ラーメン1つ」 ラーメンを持ち、普段からは想像もできないさわやかな笑顔を浮かべて振り返るが、玄野と田代があつた瞬間それがひきつった表情に変わる

玄野「あ、和泉。」

和泉「……玄野。」の事は黙つてくれ。……言つなよ……絶対言つなよ
！」

玄野「それって、言えってことだよな。」

和泉「頼む！言わないでくれ！俺の活券にかかるから！毎日あく
せく働いても日照りで作物は全滅、おらたちのところにはちょっと
しか残つて無いんでさあ！それまで取り上げられたらおらたちはどう
したらいいんですかい、勘弁してくださいせえ、おねがえで！」せえま
すお代官様！」 玄野の足元でDO GE NA

多恵（これが…あの…和泉君…）

アダム「必死にもほどがあるだろ…」

（玄野、笑いながら写メを取る）

涼子「お願い、誰にも言わないであげて！」

玄野「ん~、分かった。じゃあ、言わないでやるよ。」

和泉「絶対だからな。あ、とりあえずラーメン。2つで800メセ
タだ。」

アダム「あ、ありがと。」 代金を渡して去る

西「おひ、ミスターDO GE NAだ。」

「E3「DOGEZAの和泉だ。」

園ちゃん「こなこちは、DOGEZA君。」

和泉「なに…？あいつら、さつきはいなかつたはずだ…クソッ！」

ケーブルを取り出す

涼子「和泉君、ちょっと落ち着いて。」

和泉「オイ玄野！誰にも言うなって言つただろ！」

玄野『ああ、言つてねえよ。言つなつて言われたからDO GE ZAの写真をpixivと一口静とFACEBOOKとツイッターにアップしただけだ。』

加藤「和泉はツツ「ミか…」

山咲「しかものつけから不憫やし。」

よく勘違いやがるが元旦は一月一日の朝の事である。（後書き）

ハイ、てな訳でセカンドシーズン第1話です。

新年会ひやつた事無い　ｂｙ作者（前書き）

今回から参戦するコラボキャラ列挙。

澤木翔太郎&Rフイリップ（仮面ライダーW news
toruから）

神童永司（仮面ライダーオーズ オメガブレイクストーリーから）

暁洸介&セイバー（ジャンヌ・ダルク）（仮面ライダーヴ
アローネ～the magician rider～から）

悠莉・インヴェナー（PHANTASY STAR PORTAB
LE2 -インフィニティ 死神と小さき翼の物語およびリトルウ
イングの非日常から）

宇都宮咲魔&秋吉夜哉（転生してもつた！系およびINS
ANITYから）

コラボのセイバーは、アーサーの方との混同を防止するためにジャンヌと表記します。

新年会ひやつた事無い b/s 作者

(チルシーのバー、『スコーチド・アース』にて)

士「新年明けましておめでとうござこますー」と訳す
ワールド新年会を開催しますー。」
雑務日誌

パチパチパチ

士「では、皆さん、いよいよお楽しみを。」

士郎「おーい。『メン、ここ』で食べていいか?」

HIIコア「どうしたの? Fate勢つてあっちで飲み食いしてたん
じゃなかつたつけ?」

士郎「そつなんだけど……」 Fate勢のテーブルを描きます

(セイバーを中心に物凄い負のオーラが湧き出ている)

クライス「どうしたんだあれ? …ん? アダム、何か表情がへんだけ
ど。」

アダム「たぶんあれ、俺の所為だ……」

皆「「「「へ?」「」「」

士郎「ああ、そうかそれで…」

シズル「何か知ってるのか?」

士郎「実はさ、セイバーの奴、アダムがガンツチーム最強の剣士って情報を聞きつけて決闘を申し込んでさ。セイバーは自信満々だったんだけど、流石にガンツソードさえあればしようと星人1体ぐらいならステッキなしでも倒せるほど強いアダムにステッキでしかも本氣出されたら流石のセイバーでも勝てるわけ無くてそれはそれは悲惨なほど惨敗してさ。それであんな感じなんだ。」

口口「確かに、騎士王の名を冠するセイバーちゃんがそんなにひどい負け方したら落ち込むよね。」

洸介「ちょっと俺が慰めに行つてくる。おーいアーサーの方のセイバーよ…」

(セイバーの憂鬱モードが一瞬で洸介に伝染)

ジャンヌ「ふつー」 FAIRY? TAILにおいて有名な『ぐもーつー』の表情になる

ルミア「…和泉さん、行ってください。」

和泉「何で俺なんだ!」

ルミア「いぢやいぢや言つてないで行きなさい」 和泉をセイバーの方に蹴つ飛ばす

和泉「どわあああ！」

シズル「…あ、そつか！和泉はスーツを着ているから負のオーラに耐えられるかもしねな…」

キュウウウウウウン ドロッ…

土郎「きゅうううん？」

イリヤ「ビリリ？」

ヒリア「あ、和泉のスーツがオシャカになつた…」

皆「「「え、ええええええ！」！」

（和泉にも憂鬱モードが伝染）

岡「しゃあないな。俺が行つてくるわ。」 パワードスーツ（ガンツスーツの強化版）を着ている

咲魔「あ、じゃあ私も！」 パワードスーツを創造

アダム「パワードスーツなら、通常のスーツが一撃でオシャカになるような攻撃に何発でも耐えられる…」 これな「」

キュウウウウン ドロッ…

夜哉「ウゾダンドコドーン…」

(岡と咲魔にも憂鬱モードが以下略)

大文字「どうする?パワードースツも使えないんじゃ……」

美羽「ちょっと待つて、セイバーが何か言つてるわよ。」

セイバー「……くだ……」

美羽「チエルシーさん、セイバーから注文よ。」

チエルシー「ハ～イ、ただいま!」 糸電話をオーラの外から投げる

セイバー「…をください…」 糸電話から話す

チエルシー「ンン? もうちょっと大きい声で頼むわヨー。」

セイバー「…この店で一番強い…を酒をください…」

チエルシー「分かったワヨー。」

(キヤバ嬢が一人出てきて、ピザを焼くときに使うアレにウォッカのボトルを乗せてセイバーに渡す)

士郎「ヤケ酒で気分を紛らわそうとしてるのか?」

(セイバー、ウォッカをラップ飲み)

ジャンヌ「そんなに飲んで大丈夫ですかアーサー…」

セイバー「フツハー！いやもつ酒でも飲まなきゃやつてらんね
つて（ゝゝゝ）」。左の顔文字と寸分違わぬ表情

皆「「「「ブツー」」」

セイバー「おーい士郎、お前もいりがいこや。 そんでお前も呑
みなつて！」

士郎「ええ？いや、でも俺はアルコールは…」

セイバー「んだよ、アタイの酒が飲めねぇってか？」 士郎の口に
ボトルをねじ込む

士郎「いませませませませ」

（士郎、泥酔してダーウン）

H//コア「セイバーって酔つたらキャラ変わるんだね…」

セイバー「オラヤ」のジャンヌ・ダルクよ～おみやーも呑めや～！」

ジャンヌ「いや、私は

セイバー「問答無用だこのやかー！」 ジャンヌに士郎と同じ事をする

ジャンヌ「」

(ジャンヌもダウン)

セイバー「おら～、追加だ追加だ！強い酒どんどん持つてこいや～！」

カナ「おっ、いい飲みつぱりだねあんた！あたしと飲み比べだ！」

セイバー「望むどいろだつちゅーの～！」

(セイバーとカナ、お互に呑みまくる)

30分後

士郎「ん……アレ、セイバーは？」

澤木翔太郎「ああ、泥酔してたから遠坂が連れて帰ったぜ。」

士郎「いっつ…頭いてえ…セイバーの野郎どんだけ飲ませたんだ俺に…」

翔太郎「ま、新年会はまだ続いているから、お前がセイバーの分まで楽しんでやれ。」

士郎「… そうだな。すいませーん！注文お願いします！」

シズル「全く、彼らはもっと静肅に飲めないのか…？」

悠莉「いいじゃないか。シズルも皆と飲んだらどうだ？」

シズル「いや、僕はちょっとな…」

ルミア「オラ～シズル～！」

カレン「付き合い悪いい～ぞ～！」

シズル「この人たちも結構絡んでくるんだつたな… 分かつたよ。」

ユート「永司～！僕とお前、どっちが強いか勝負だ～！」 結構酔つてる

永司「望むところだ！」 意外にもシラフ

ゴート『オラアアアアアアアア！』　久々のゴートブラスト

『ユニコーン！グリフォンードラゴン！　ユニイイイグリイイイード
ウオオオオオズ！！』

シズル「もう止めてほしい…」

1時間後

チエルシー「私の店を荒らすな！」　女性用に改造したF.P.Sセットを着込み、同盟軍時代モード

ゴート&永司「「すびばせんでじだ…」」　ボッコボコ

懲りずに4度目キターッ！

クラウチ「さて、メンバーは全員そろったようだし、説明するぜ。」

玄野「何でGANTZから俺だけ？」

弦太郎「何か…嫌な予感がするぜ…」

アダム「俺とエミリアとシズルとクライスと玄野と弦太郎…大体想像はつくけど、何すか？」

エミリア「皆でイベントやるとか言つてたけど、100パーアレだよね…」

シズル「だな…宿泊の用意も持つてこいって言われたし…」

クライス「マジでふざけんな！何で僕が2度も…」

クラウチ「えー、お前らには今から、見習い警察官として2日間勤務に励んでもらう。特例の場合を除き、その間は何があつても笑つてはいけない。笑つたらその場でキツイお仕置きが待つてるぜ。」

玄野「ウソだろ…？参戦早々笑つてはいけない参加つて！」

弦太郎「遂に俺達ライダーも…」

ヒミコア「それくらいでビビッたら、皆勲賞のあたしとシズルはどうなるのよ…」

シズル「本当だよ全く…」

クラウチ「ヒーリング、お前ら、その格好で警官の仕事をするつもりじゃないだろうな。着替えはアツチのボックスに用意してあるから、アレに入つて着替えて來い。」

皆「…………」

クラウチ「よし、じゃあ一人ずつ出て來い。」

アダム「ん…意外と悪くないかも。」

美形 コスプレ警官 アダム

ヒミコア「このスカート足開きにくい…」

大食い フトモモ警官 ヒミコア

シズル「せめてコート着用は許してくれ……生地が違つから落ち着かない……」

能無し 不憫警官 シズル

クライス「拳銃は無いのかよ。」

優秀 ツンデレ警官 クライス

弦太郎「何か落ち着かないぜ……」

ヤンキー 口ケット頭警官 弦太郎

玄野「メンドくせえ……ま、いつか。」

コスプレその2 雷行燈警官 玄野

クラウチ「全員着替え終わつたな。よし、こじでちょっと待つて。バスが来るぜ。ナビゲーターももうすぐ来るはずだ。じゃ、俺は仕事があるから帰るぜ。」 その場を去る

クラッシュ・タウンモード
鬼柳「待たせたな。俺がナビゲーターの鬼柳だ。」

玄野「男かよ…」

鬼柳「じゃ、バス来たから乗れ。」

エミリア「行き先は…えっと…『オンドウル温度壳警察署』…」

アダム「作者どこのまでオンドウルに頼る氣だ…」

鬼柳「さあ、バスに乗った瞬間からスタートだ。気を引き締める。」

『絶対に笑つてはいけない警察署』スタート！

懲りずに4度目キターッ！（後書き）

ボッスンさんの世界から派遣されたバナージとヤミは次回から出ます。

絶対に笑つてはいけない警察署 PART 1 (前書き)

今回から、ボッシュさんとのコラボで金色の闇ヤマモチヤンとバナージ・リンクスが参戦します。

ヨーロンって面白いよねー。ぶっちゃけAGEよりずっといい。

絶対に笑つてはいけない警察署 PART1

玄野「あ、バス停まつたぞ。」

(ヤミが乗車し、メンバーの正面に座つて本を読みだす)

ヒミコア「いきなり『ラボキャラ使つてきたね。』

シズル「何読んでるんだ……えつと……レベルフツぽいな。」

ヤミ「……熱つつ！」 鯛焼きを一つ取り出してかじるが、あまりの熱さに思わず放り出す

玄野「ぶふつ」

クライス「くつくく……」

デデーン

『クライス 玄野 OOTO』

田中星人『祐三くん?』

クライス「いでえ！」

玄野「ぎやあ！」

(笑うと田中星人にケツをぶたれる)

ヒューガ「…これはこれは、ヤミさんではありますか。いやあ、改めて見ても非常にお美しいゴオッ！」拳に変化したヤミの髪に顔面ストレートを叩きこまれる

ヤミ「殺しますよ。」

ヒューガ「……」メガネが割れてる

弦太郎「くくつ」

アダム「ふふつ」

玄野「カアアアアアアアアア…」

デデーン

『アダム 弦太郎 OUT』

アダム「ちょっと待て！玄野が松本と同じ手を使つてるけど！？」

田中星人『ハアーハアーハアー』

アダム「どお！」

弦太郎「いっだ！」

(バスが次の停留所に着き、ヤミが降りた直後にドアが閉まる)

弦太郎「誰も乗つてこねえぞ。」

「???'「停めてくれ!バスを停めてくれ!」

『ミコア「ふつ」

椿「バスを停めてくれええ!」首から下がスパイダーマンの格好でバスを追いかける

『テーン

『ミリア　〇〇一』

田中星人『カンタローツ』

『ミコア「あうー。」

(椿が見えなくなる)

『ミコア「どんだけ昔の映画使つのよ。』

クライス「作者の限界だろ。」

玄野「くふふつ」

シズル「ハイ笑つたー」

『テーン

『玄野 OUT』

田中星人『スイカの名産地?』

玄野「だあ！」

（停留所に到着し、ホストガムらいときるびるが乗り込んでくる）

玄野（あ、あいつ…）

ホストガムらい「……」持っていたカバンから般若のお面を出してかぶる

エミコア「ふふつ」

弦太郎「ぶつ」

シズル「くくく…」

『デーテーン

『エミリア シズル 弦太郎 OUT』

田中星人『さわやかな…?』

エミリア「痛い！」

シズル「だあ！」

弦太郎「でえ！」

きるびる「……」シズルをガン見

シズル「ふふふつ」

『デーテーン

『シズル OUT』

田中星人『良い子のみんな いいかなー』

シズル「ぎやあ！」

絶対に笑つてはいけない警察署 PART1（後書き）

ホストやむらこときるびるの本名知つてゐヒトがいたら教えてくだ
ちい

絶対に笑つてはいけない警察署 PART2（前書き）

ただいまケツをぶたれた回数

アダム：1回

エミリア：2回

シズル：2回

クライス：1回

弦太郎：2回

玄野：2回

絶対に笑つてはいけない警察署 PART2

(バスが停留所に泊まる)

？？？「オオオオオオオオオオオオオオオオ！」

皆「「「「「ぶつぶふ」」」」」

『テーン

『全員 OUT』

田中星人『カンタローツ』

アダム「があ！」

ヒロア「きやあ！」

シズル「どお！」

クライス「でえ！」

弦太郎「だあ！」

玄野「げふ！」

(バンパイアの斎藤が江頭2・50の恰好でバスに飛び込んできて

モノマネ開始)

斎藤「だあああ！！だあああ！！どおおお！！」 手すりに突進して跳ね返つてまた反対側の手すりに激突、これを延々繰り返す

弦太郎「だつはつは！あーつはつは！」

斎藤「おおおおおおー！！！！！」 セツセツと退場

「デーヌ

『弦太郎 OUIT』

田中星人『祐三くん？』

弦太郎「があ！」

鬼柳「見えてきたぜ。アレが、オンドウル 温度壳警察署だ！」

HIMCOA「うつわ、地獄の門だ！」

鬼柳「よし、全員降りたな。じゃあ、受付に行くぞ。」

弦太郎（受付嬢トラップキターッ…）

鬼柳「彼女が、受付嬢のセイバーさんだ。何でも知ってるから、分からぬ事があつたらこの人に質問するように。」

セイバー「ちよりーつす、セイバーでいーすヒック（> <）」
90度のウォッカのボトルを手に握り、ラツツの袋に手を伸ばしながら挨拶

アダム「んふつふ

エミリア「ふつふふ

玄野「くくく…」

デーティン

『アダム エミリア 玄野 オウト』

田中星人『ヘイーヘイーヘイー

アダム「いつつ…」

エミコア「いたあ！」

玄野「いっづー！」

シズル「セイバーさん！何で昼間から酒乱モードなんだ！」

セイバー「んああ？何言つてんだ銀髪兄ちゃん、あたいは全然酔つてねーっつーの「ゴクゴク…」 ウオッカをストレートでラッパ飲み

エミコア「いや、見て分かるから。」

セイバー「エミにゃんまでなにいつてんだよ～ぱりぱり～」
クラッ を食べ、ウォッカをラッパ飲み

エミコア「んふふ」

シズル「…ふふつ」

クライス「ぶーつ！」

デーテーン

『エミリア シズル クライス OUIT』

田中星人『ハーアーハーアーハー』

エミコア「きやあ！」

シズル「うぐつ！」

クライス「いつたあ！」

セイバー「んじゃな」新米ども「ぐびぐび」

ウォッカを以下略

アダム「エミにゃんね…」

シズル「あだ名がついたな。」

エミリア「嬉しくないわ！」

クライス「……」

玄野「あ、クライス笑つたぜ。」

デデーン

『クライス OUT』

田中星人『カンタローツ』

クライス「いつで！」

絶対に笑ってはいけない警察署 PART2（後書き）

はい、Hミコアにあだ名がつきました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0865ba/>

リトルウイング雑務日誌セカンドシーズン 混・沌・交・錯

2012年1月10日15時46分発行